

「命を守る、命をつなぐ」 アンケート結果

CAN（消費者行動ネットワーク）

CANは、11月17日(土) 栄 オアシス21で開催された名古屋消費生活フェアにおいて、「減災」についてのブースを出展しました。その際、減災についての対話アンケートを実施し 79名の方から回答いただきました。以下、集計結果です。

(文責 大村昌宏)

実施日 2018年11月17日(土) 11時～16時
場所 栄 オアシス21
イベント名 名古屋消費生活フェア
回答者数 79名



アンケートと同時に、お住まいの地域のハザードマップで水害リスクや地震のリスクをご確認いただきました。

1. 災害時、命をつなぐ上で必須なのが「飲み水」です。備蓄していますか？

79

- | | | |
|-------------------------|-----|----|
| a. 1週間分以上の「飲み水」を備蓄している。 | 22% | 17 |
| b. 3日分以上の「飲み水」を備蓄している。 | 47% | 37 |
| c. 「飲み水」の備蓄はまったくしていない。 | 24% | 19 |
| d. その他 | 8% | 6 |

{問い1 結果コメント}

- ・残念ながら「まったく備蓄していない」方が4人に1人。
- ・一方、一週間分以上備蓄しているが5人に1人。
- ・巨大地震は、必ず襲ってきます。水害で何日間も孤立するリスクも高まっています。
- ・水があれば数日、命をつなぐことができます。
- ・必ず「飲み水」を備蓄しておきましょう。

3日分以上の「飲み水」を備蓄している。

「飲み水」の備蓄はまったくしていない。

1週間分以上の「飲み水」を備蓄している。

その他

2. 震災の際、家具は凶器と化します。転倒防止等の対策を講じていますか

78

- | | | | |
|----|-------------------------------------|-----|----|
| a. | 家具は倒れたり、飛んできて凶器と化す!! まったく考えてもいなかった。 | 5% | 4 |
| b. | 対策が必要と考えているが、まだ実施していない。 | 47% | 37 |
| c. | 転倒防止や固定など実施している。(一部でも結構です) | 47% | 37 |



{問い2 結果コメント}

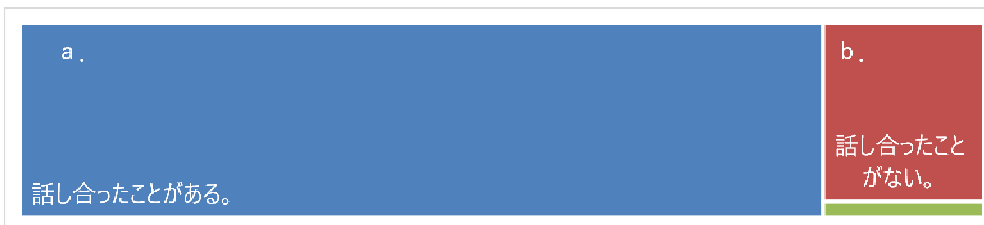
・転倒防止等の対策の未実施、実施の方が半数づつとなりました。若干、未実施の方が多い結果となりました。

・この20年~30年の間に巨大地震は必ず発生します。
・固定していない家具は、凶器となって襲ってきます。直ぐに固定しましょう。

3. 水害や地震への備えについてご家族で話し合ったことがありますか？

72

- | | | | |
|----|-------------|-----|----|
| a. | 話し合ったことがある。 | 83% | 60 |
| b. | 話し合ったことがない。 | 15% | 11 |
| c. | その他 | 1% | 1 |



{問い3 結果コメント}

・8割の方が、家族で話し合ったと回答。
・「備蓄品や貴重品の保管場所、安否確認の方法、避難経路、避難先等、家族での情報共有が、大切な備えとなります。

4. いざという時、たよりになるのが共助(ご近所、地域のみなさんとの助け合い)です。

79

- | | | | |
|----|---------------------------------|-----|----|
| a. | 「お互いさま」と日頃から挨拶をかわし親しくなるよう努めている。 | 54% | 43 |
| b. | 知っているがあまり親しくない。 | 35% | 28 |
| c. | ご近所や地域の方のことはあまり知らない、疎遠だ。 | 10% | 8 |



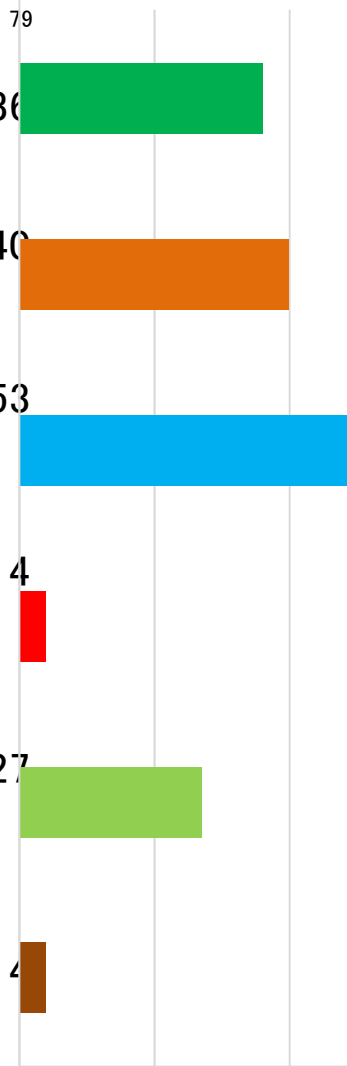
{問い4 結果コメント}

半数の方が「お互いさま」と挨拶をかわし親しくなるよう努めていると回答。
・一方、ご近所の方をあまり知らない、疎遠だが1割りいました。

5. 地震や火山噴火、台風等の自然災害は発生を防ぐことができません。しかし社会災害は、人間が原因で起きること、取り組みしだいで発生を防止できます。あなたが必要だと思う項目に全て丸をつけてください。

* % は、回答者中の割合。棒グラフは回答者数。

a.	テロの温床は貧困。経済的自立ができるよう援助を強めよ。	46%	36
b.	原発事故は、原発を無くせば、発生を防げる。原発のない社会をめざそう。	51%	40
c.	戦争を起こしてはならない。外交努力と相互理解の推進を最優先で。	67%	53
d.	軍事力を強めないと相手になめられる。力の均衡を保ってこそ平和を保てる。	5%	4
e.	国民監視を強めることは、不信と不安を増やすだけだ。情報公開と政治参加の促進こそ必要。	34%	27
f.	その他、どんな取り組みを強めることで社会災害の発生を防止できるか自由にお書きください。	5%	4



・回答者の7割近くの方が、「戦争を起こしてはならない」と回答。戦争は多数の人の「命と財産」を奪う、最大の「災い」外交努力と相互理解の推進で防ぎたいものです。

・回答者の半数の方が「原発のない社会をめざそう」と回答。福島第一原発事故で、原発災害の酷さを私たちは学びました。原発をなくせば、原発災害が発生しません。

* fでご記入いただいたまま記載しました。

- ・高齢者が増加、一人ぼっちの人が多くなっている。どんな形でもいいので地域との関わりを持つ様に努力する。
- ・・・地域で強力して結束を深めて助け合い声かけをする！
- ・情報公開を徹底して秘密をつくらないこと。
- ・政府にだまされない様、声をあげるべきだ。
- ・戦争はイヤダ絶対にしたくない。
- ・自衛隊機がすごく飛んでいる。その燃料代etc・・・もっと国民の命を守る為に配分すべき!!

〇ブースで市民の皆さんと対話したCAN事務局のメンバー。お疲れさまでした。

